

元首相に行事出席依頼

鳩山氏事務所長証言

断ると金銭提供申し出

徹底追及
統一協会

統一協会（世界平和統一家庭連合）関係者が2010年、鳩山由紀夫元首相に対して韓国で開かれた関連イベントへの出席やビデオメッセージなどを依頼していたことが4日までに分かりました。鳩山氏の事務所長を務める芳賀大輔氏が本紙の取材に応じ、元議員や知人を通じて複数回の依頼を受け、断るとい金銭の提供を持ちかけられたと証言しました。

（統一協会取材班）

氏側は一度だけ応じ、統一色（COPFC）が韓国で開催会の政治組織「国際勝共連合」の権利正義委員会（元連合）が出席しました。鳩山氏は「韓人が出席しました。

同席した勝共連合幹部の鶴子總裁をはじめ、皆さま一人は、その後も一度にわたりて芳賀氏を訪ね、鳩山氏との関係を深めようとしました。

鳩山氏は民主党政権の2000年の初から2006年まで首相を務めました。芳賀氏は「元首相で一定の知名度もあったので、統一協会が広告塔として利用したい元議員の秘書を通じてたので、近づいては適切です」として、すぐ依頼を断りました。

イベントへの出席を依頼。ではなことじの認識だったが同様の依頼を断ったのに、お金の話をされたの「アジアなどから要人が集た」として、すぐ依頼を断るという風潮でした。

として「出席できないなりとして「出席できません」と振ります。その後、協会側は鳩山氏と繋いだ韓国人を通じて、同じ時期に勝共側は、鳩山氏のタミー団体「大田和平連

芳賀氏によると、統一協会側は「統一協会は韓山氏側が再び断る」と、金銭提供を持ちかけられたとされています。芳賀氏は「うちいたのではなく、この認識たつた」こと、すぐ依頼を断つていました。

として「出席できません」と繋いだ韓国人を通じて、同じ時期に勝共側は、鳩山氏のタミー団体「大田和平連

れておりましたが、金銭提供をほかにも持つかけってきた可能性があります。

21年9月には、統一協会